

# かしそく新聞

～訪問診療 編～

かつしか心身総合クリニック

「かかりつけ医」として在宅療養をサポート致します。

## 【知っておきたい/予防したい、誤嚥性肺炎①】

★駒形悠佳歯科医師 障害者歯科学会認定医 摂食嚥下リハビリテーション学会認定士(法人顧問)

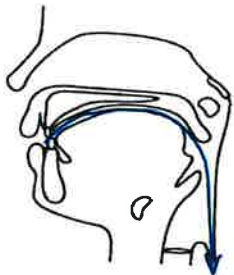
### ○まずは正常の飲み込み機能は？

▽食べ物が口に入ると、舌で食べ物を奥歯に乗せ、舌・頬・唇を巧みに動かしながら噛み砕きます。十分に噛み砕けた後、舌で食材をひと塊にし、喉に送り込みます。食べ物が喉に入ると、感覚が正常に働き、「ごっくん」の反射が不随意に起こり、食べ物は食道へ流入し、胃へと運ばれます。▽気管と食道は隣り合わせに存在しますが、気管に入らないような構造が複数存在し、食べ物や水分は気管に入らないような構造になっています。

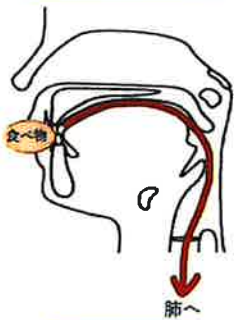
### ○誤嚥性肺炎とは？

気管に食べ物や唾液など空気以外のものが入ることを「誤嚥」といいます。口の中には無数の細菌が存在しており、食べ物や唾液などと一緒に気管の中に入ると、肺で炎症を起こします。これを誤嚥性肺炎といい、発熱や痰の増加、全身倦怠感等の症状が出現します。▽誤嚥性肺炎による入院は、50代から存在し、高齢になるにつれ増加していくと厚生労働省から発表されています。[次回②に続く]

※お詫びと訂正=前回連載の駒形清則医師の連載のタイトルが「2005・2024 問題」となっておりましたが、正しくは「2025・2024 問題」でした。お詫びして訂正いたします。



【正常な飲み込み】



【誤嚥性肺炎】



## ～編集後記～スタッフのつぶやき～

☆遅ればせながらのご報告になります。おかげさまで、当法人「医療法人財団ファミーユ」は、9月27日で創立30周年を迎えました。葛飾区細田から始まり、立石、現在はJR金町駅北口にて開業しております。場所が変わり、平成、令和と時代が変わりましても、「必要な人のところに、必要な医療を提供する」という考えのもと、【患者様が安心して生活できる環境のお手伝いをしたい】という強い思いはこれからも変わりません。今後も引き続き、皆様のお役に立てますよう精進してまいりますので、引続きよろしくお願ひ申し上げます。(K)

医療法人財団ファミーユ

かつしか心身総合クリニック

〒125-0041 葛飾区東金町1-41-1 桜井ビル2階

① ☆外来：心療内科=永井斐子院長

もの忘れ=新井田素子医師

内科=駒形清則医師

② ☆訪問診療

内科=駒形清則医師、駒形明紀医師

精神科=米谷充医師

神経内科=今井壽正医師、西岡健弥医師、平井健医師

※詳しくはホームページをご覧ください、お電話にてお問い合わせ下さい。

電話 03-3627-0233